

科学の本の読み聞かせと図書館で出会う 科学コミュニケーション



東久留米市立中央図書館（東京都東久留米市） <http://www.lib.city.higashikurume.lg.jp>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	東久留米市中央町2-6-23
電話番号	042-475-4646
人口（図書館が所在する市町村）	11万6千人
職員数（うち有資格者数）	27人（22人）
蔵書数	454,725冊
登録者数	27,379人
年間貸出冊数（H24）	853,472点

目的・趣旨

1. 文学中心であった児童への読書推進活動に科学を取り入れた実績
2. 情報化や技術の進歩により科学リテラシーの向上は生涯学習の課題であり、市民全体の課題解決と学習に寄与する図書館活動の先進事例

取組概要

- 1 「よもうあそぼうかがくの本」小学生対象に年10回実施

【ある月の例】

テーマ「たねのさくせん」・身近な種を観察する・種の模型の工作を行う・体験のあとに絵本の読み聞かせと関連資料の紹介・もっと知りたい本を借りて帰る

- 2 科学コミュニケーション推進事業「図書館でであう」をコンセプトに、科学ウィーク（中高生ポスターセッションや展示）、指導者養成講座等を実施（平成24年度科学技術振興機構活動支援）



特徴

- 図書館で科学
文系の利用者が多数派の図書館だからこそ、科学とであう効果大！
体験で得た自然や科学への関心を、本で知識として整理し興味を広げることができる
- 市民ボランティアと協働
医療関係者、サイエンスコミュニケーター、研究者、教員などの専門家や児童の保護者や中高生、市民ボランティアが活動に参加、図書館と共同でコンテンツの開発や人材育成を行う
- 蔵書の充実
読み聞かせやブックトークのため、資料の検討や幅広い選書が必要となり、司書の選書力の向上と自然科学の蔵書が充実



科学がテーマの読書ラリー



イベントとポスター展示

取組の成果と今後について

理科教育の充実や「理科読」の推進など、「科学」は学校でも地域でもホットな領域。科学館や専門機関ではなく、誰もが利用する図書館の取り組みだからこそその意義があり評価も高い。これまでの11年間は、子供を主な対象にしてきたが、今後は子育て世代や一般市民にむけた科学コミュニケーションの機会を、科学の本の読み聞かせで得たノウハウを生かして発展させたい。